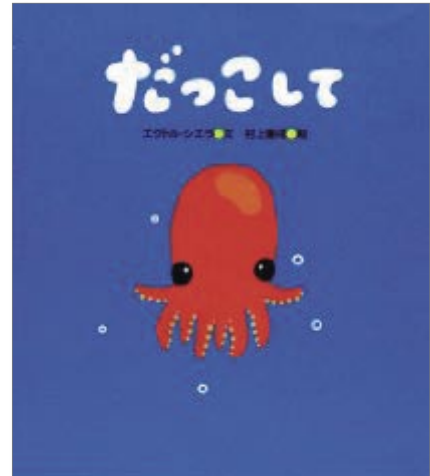




『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやまけん／絵
森比左志／文 わだよしおみ／文
こぐま社

「ぼたあん だろだろ ぴちぴちぴち ぶつぶつ」しろくまちゃんがつくるホットケーキはほんとうにおいしそう。あたたかい絵と言葉のリズムが子どもたちを夢中にさせます。読むと、きっとホットケーキを作りたくなりますよ。



『だっこして』

エクトル・シエラ／文 村上康成／絵
佼成出版社

「だっこして、だっこして！」小さいたこが甘えると、お母さんたこはいつもだっこします。お化粧しながら、お掃除しながら、8本の足が大活躍。お母さんも子どもも満たされた気持ちになれる、愛のつまった絵本です。



『たまごのあかちゃん』

かんざわとしこ／文 やぎゆうげんいちろう／え
福音館書店

「たまごのなかで、かくれんぼしている、あかちゃんはだあれ？」の問いかけに、いろいろな動物のあかちゃんが泣き声とともに出てきます。にわとりのあかちゃん、かめのあかちゃん、きょうりゅうのあかちゃんまで…。ワクワクしながら楽しめる絵本です。



『てぶくろ』

エウゲーニー・M・ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店

おじいさんが、雪深い森の中で落とした片方のてぶくろ。その中に食いしんぼネズミ、ぴよんぴよんガエル、はや足ウサギ、おしゃれギツネ、灰色オオカミ、牙もちいのしし、のっそりグマが次々に入ってきて小さなてぶくろは今にもはち切れそう。